

優れた自費出版を顕彰する 日本自費出版文化賞

優れた自費出版書籍を顕彰する「日本自費出版文化賞」は1997年に創設されました。7部門ごとにそれぞれの専門の有識者で構成する選考委員が審査を行い、大賞と各部門賞、特別賞を選考し顕彰します。

📖 各部門

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 1. 地域文化部門 | 郷土史、地域誌、民俗記録、地域人物伝、記念誌等 |
| 2. 個人誌部門 | 自分史、一族史、追悼集、遺稿集、旅行記、趣味等 |
| 3. 小説部門 | 小説、童話など散文で書かれた物語形式の文芸 |
| 4. エッセー部門 | 随筆・随想など散文で書かれた小説以外の文芸 |
| 5. 詩歌部門 | 現代詩、俳句、短歌など韻文で書かれた文芸 |
| 6. 研究・評論部門 | 研究：人文/歴史/法律/経済社会/理工他、評伝、評論等 |
| 7. グラフィック部門 | 画集、写真集、絵本等、デザイン集等 |

👤 選考委員

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 鎌田 慧 (ルポライター) | 選考委員長
(1回～20回までは歴史家の色川大吉氏) |
| 中山 千夏 (作家) | |
| 秋林 哲也 (編集者) | |
| 佐藤 和夫 (哲学思想研究者) | |
| 藤野 健一 (編集者) | |
| 小池 一子 (クリエイティブ・ディレクター) | |
| 成田 龍一 (大学教授) | |

🏆 賞状および賞金

- | | |
|-----|--------------------|
| 大賞 | 賞状ならびに賞金20万円(1点) |
| 部門賞 | 賞状ならびに賞金5万円(各部門1点) |
| 特別賞 | 賞状ならびに記念品 |
| 入選 | 賞状(各部門10点程度) |

✍️ 応募について

応募期間：毎年11月から翌年3月末まで。
詳細はNPO法人日本自費出版ネットワークのホームページでご確認ください。



庶民の生活を記録する 文化NPOとして



代表理事(共同代表)
中山千夏

NPO法人日本自費出版ネットワークは1996年に設立し、優れた自費出版作品の発掘と自費出版文化の向上を目指して1997年には日本自費出版文化賞を創設しました。私はその審査のお手伝いをしたのがご縁で代表理事をお引き受けすることになりました。この賞の選考を続けている中で、驚くほど質の高い作品と出会い、自費出版が果たしている庶民の記録システムとしての貴重な役割を知りました。NPO法人日本自費出版ネットワークはこの他にもいろいろな活動を行っています。一人でも多くの方に、自費出版への興味を持っていただきたい。そして、この社会では独特な、営利にかかわらない文化NPO団体としての存在と意義を知っていただきたいと思います。

<https://www.jsjapan.net/>

JSN

Japan Self-publishing Network

NPO法人日本自費出版ネットワーク事務局

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階

TEL：03-5623-5411 FAX：03-5623-5473

Mail：pp@japan.email.ne.jp



NPO法人
日本自費出版ネットワーク

JSN
Japan Self-publishing Network

日本の自費出版文化を守る



NPO 法人 日本自費出版 ネットワークの目的

自費出版と呼ばれる多くの書籍は、一般の商業出版と違い、光が当たる機会も少なく、その出版記録もほとんど残されていませんでした。そのような状況に危機感を持った全国の自費出版制作事業者が、1996年に日本の自費出版文化を守り伝えることを目的に日本自費出版ネットワークを設立しました。その主たる活動は「自費出版書籍に光をあてること」で、1997年に創設された「日本自費出版文化賞*」の運営と、連動した自費出版書籍のデータベース化です。そして、さらに良質な書籍づくりを目指すために「自費出版制作事業者への教育支援」も行なっています。

*主催：一般社団法人日本グラフィックサービス工業会、後援：朝日新聞社など

主な活動

1. 「日本自費出版文化賞」の運営
2. 自費出版書籍データの収集・管理
3. 「自費出版フェスティバル」「自費出版即売会」の開催
4. 自費出版制作事業者の教育支援
5. 自費出版契約ガイドライン策定と周知

1. 「日本自費出版文化賞」の運営



日本自費出版文化賞表彰式

自費出版は、商業出版と同じように出版文化の重要な位置を占めていますが、その評価は必ずしも高くありませんでした。しかしながら最近では、商業出版では採算上出版できない良書や貴重な本の多くが自費出版によって誕生しています。「日本自費出版文化賞」は1997年の創設以来、そのような優れた自費出版書籍に光を当て、著者の功績を讃え、かつ自費出版文化の再評価、活性化を促進しています。

2. 自費出版書籍データの収集・管理



ホームページにある「自費出版書籍データ検索」

商業出版と比べて自費出版の多くは出版記録が残ることが少ない状況が続いています。そこで日本自費出版ネットワークでは、日本自費出版文化賞と連動して、1997年より自費出版書籍のデータを収集・管理を始めました。(2019年6月現在約7000点)。また、2002年から「日本自費出版年鑑」を発行し、日本自費出版文化賞への応募作品の詳細を記しそれらの作品を保管しています。

3. 「自費出版フェスティバル」「自費出版即売会」の開催



第1回自費出版即売会は入賞作品のみの即売会

自費出版ネットワークでは「日本自費出版文化賞」の表彰式とあわせて、著者・制作者など自費出版に関わる人々が、新たな文化共有の場として2002年7月から「自費出版フェスティバル」を行っています。また、2019年10月のフェスティバルから「自費出版即売会」を開催し、掘り出し物の本と、熱い思いで出版した著者に会える楽しく刺激的な場づくりをはじめました。

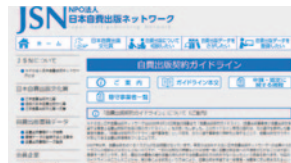
4. 自費出版制作事業者の教育支援



自費出版アドバイザー養成講座

自費出版制作では、出版に慣れていないお客様（著者）が大半であることを踏まえ、出版に関する広範囲な分野で適切なアドバイスができる人材が求められています。そこで、日本自費出版ネットワークでは、自費出版アドバイザー養成講座の開催とNPO認定自費出版アドバイザー試験を実施し、自費出版制作事業者の教育とエキスパートアドバイザーの輩出を進めています。

5. 自費出版契約ガイドライン策定と周知



自費出版契約ガイドライン(HPから)

NPO法人日本自費出版ネットワークは2008年2月の理事会で「自費出版契約ガイドライン(自費出版事業者が自費出版を希望する著者と自費出版契約を結ぶ際のガイドライン)」を決定いたしました。このガイドライン策定の目的は、その遵守を表明した事業者を審査し「自費出版契約ガイドライン遵守事業者」として認定、さらに遵守事業者の情報を公開することで、自費出版を行う方々が安心できる自費出版環境をつくることです。詳細はホームページにて。

<https://www.jsjapan.net/users/guidelines>